

報 告

令和元年8月20日  
環 境 局  
環 境 産 業 推 進 課

第三セクターの経営情報について  
(西日本ペットボトルリサイクル株式会社)

## 1 会社概況（平成31年3月末現在）

### (1) 主要な事業内容

ペットボトルリサイクル事業

（食品容器用再生PET樹脂製品及び非食品用途再生PET樹脂製品の製造）

### (2) 本社・工場

北九州市若松区響町一丁目62番（平成10年7月稼動）

### (3) 株式及び市出資額

①資本金	1億円
②発行済み株式の総数	2,000株
③当期末株主数	5名
④市出資額	500万円（出資比率 5%）

### (4) 当期末従業員

44名（常勤役員3名を除く）

## 2 平成30年度事業報告

### (1) 全国のペットボトルリサイクルの状況

主な原料調達先である（公財）日本容器包装リサイクル協会（※容器包装リサイクル法に基づく指定法人）による、平成30年度の全国の自治体からの引取量は、21万1,500トンと前年度から1万2,700トン増加した。

落札価格（※有価での買取り）は、上期がトン当たり3万1,000円と前期から6,800円値下がりしたが、下期は、新品PET樹脂価格が上昇傾向であることに加え、再生PET樹脂の需要の高まりなどを受け、3万6,300円と5,300円値上がりした。

### (2) 原料入荷の状況

価格と量の確保とのバランスに配慮して入札に臨んだ結果、平成30年度上期は1万500トン、下期は6,900トンとほぼ目標量を確保した。

また、中国の輸入停止の影響を受け、国内にとどまっている指定法人ルート以外の事業系原料（※自動販売機や飲食店等から回収されるもの）を安価に調達し、当年度の合計では、前年度比1,300トン減の2万3,400トンとなった。

### (3) 生産の状況

ペットボトルを破砕・洗浄した「フレーク」、及びフレークを加熱溶融し、粒状に成形した「ペレット」を生産し、年間出荷量は前年度比900トン減の1万7,800トンとなった。

(4) 販売の状況

新品のPET樹脂価格に連動して再生PET樹脂の価格が変動したことや、出荷量の減に伴い、売上高は前年度より2億200万円減の18億1,400万円となった。

(5) 財務の状況

経常利益	1億5,601万円（H29：5,911万円の利益）
当期純利益	1億1,326万円（H29：5,855万円の利益）

(6) その他

北九州エコタウン第一号立地企業。

市が設置する環境産業推進会議に参画するほか、北九州エコタウン連絡会議において中心的役割を果たすなど、国内の資源循環や、本市の環境産業振興に寄与。

(参考) 令和元年度の状況

令和元年度（上期）落札結果

- 全国平均落札単価：1トン当たり3万3,601円での買取り
- 同社落札量：9,997トン

### 3 決算報告書

#### 損益計算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(千円)

科 目	金 額
営業損益 ①	66,558
営業外損益 ②	89,456
経常損益 ①+②=③	156,014
特別損益 ④	▲2,271
税引前当期純損益 ③+④=⑤	153,743
法人税・住民税及び事業税 ⑥	▲40,481
当期純損益 ⑤+⑥=⑦	113,262

#### 貸借対照表

平成31年3月31日現在

(千円)

資 産 の 部		負債及び純資産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	603,804	流動負債	505,933
固定資産	1,784,246	固定負債	812,883
有形固定資産	1,769,826	負債合計	1,318,816
無形固定資産	13,333	資本金	100,000
投資等	1,087	利益剰余金	969,234
		純資産合計	1,069,234
合 計	2,388,050	合 計	2,388,050